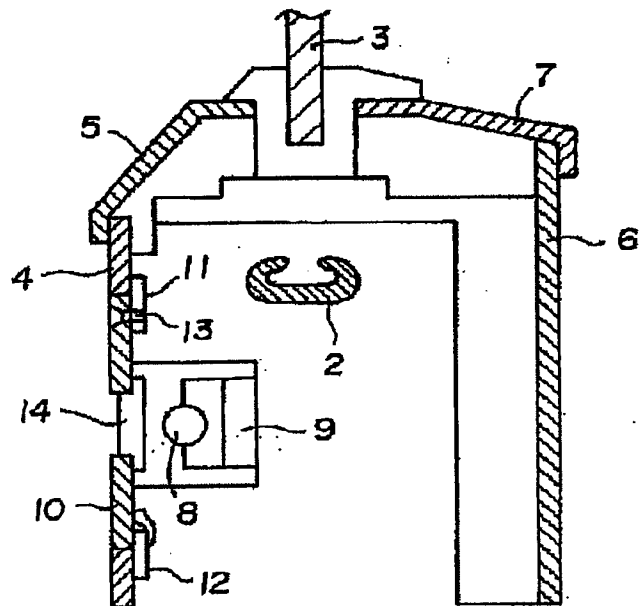


Patent Abstracts of Japan

TITLE : FOOT LIGHT DEVICE FOR
PASSENGER CONVEYOR



COPYRIGHT: (C)2001,JPO



179179



G00002

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-97659

(P2001-97659A)

(43) 公開日 平成13年4月10日 (2001.4.10)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 6 B 23/22

31/00

識別記号

F I

B 6 6 B 23/22

31/00

テームコード* (参考)

H 3 F 3 2 1

E

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平11-281714

(22) 出願日

平成11年10月1日 (1999.10.1)

(71) 出願人 000232955

株式会社日立ビルシステム

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地

(72) 発明者 稲田 新治

大阪府大阪市北区西天満4丁目8番17号

株式会社日立ビルシステム関西支社内

(74) 代理人 100078134

弁理士 武 顕次郎 (外2名)

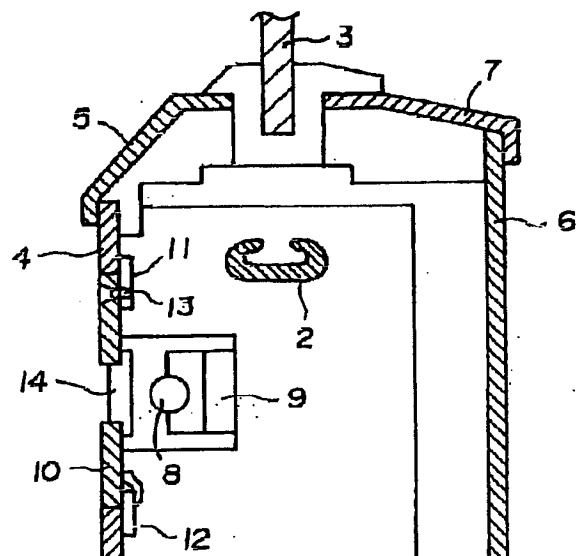
Fターム(参考) 3F321 AA02 CE21 CE31 HA14

(54) 【発明の名称】 乗客コンベアのフットライト装置

(57) 【要約】

【課題】 スカートガードパネルを取り外さずにランプ交換、照明器具の点検修理等を可能とする。

【解決手段】 欄干3の乗降口部に設けられたフットライト8を備えた乗客コンベアのフットライト装置において、欄干3を構成しているスカートガードパネル4のフットライト対応部分を別ピース10とし、脱着可能な構成とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 無端状に連結され、2つの乗降口間を循環走行する多数の階段と、この階段の両側に立設された欄干と、前記階段と同じ方向にほぼ同じ速度で走行するハンドレールと、前記欄干の乗降口部に設けられたフットライトとを備えた乗客コンベアのフットライト装置において、欄干を構成しているスカートガードパネルのフットライト対応部分を別ピースとし、脱着可能としたことを特徴とする乗客コンベアのフットライト装置。

【請求項2】 前記別ピース部分は、フットライトの蛍光ランプの長さより若干長い寸法になっていることを特徴とする請求項1記載の乗客コンベアのフットライト装置。

【請求項3】 前記別ピース部分は、互いに係合する凹部および突起とビスとによって前記スカートガードパネルに固定されていることを特徴とする請求項1記載の乗客コンベアのフットライト装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、エスカレーターや動く道路等の乗客コンベアのフットライト装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の装置としては特開平7-215649号公報に記載されているように、照明ランプを収容した照明体を乗降口におけるスカートガードに取付けた構成のものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の装置における前者のものは照明体がスカートガードのパネル面から突出しており、しかも位置が利用客の足元であるため、利用客の邪魔となる。また、後者のものは、スカートガードパネルの内側すなわち、内デッキ内に照明体が収容されているため、ランプを交換する場合、スカートガードパネルの上方縁を覆うように固定されているモールデッキおよびスカートガードパネルを取り外す必要があった。

【0004】本発明の目的は、スカートガードパネルを取り外さずに、ランプ交換、照明器具の点検修理等が可能でしかもスカートガードパネルから突出していない乗客コンベアのフットライト装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的は、無端状に連結され、2つの乗降口間を循環走行する多数の階段と、この階段の両側に立設された欄干と、前記階段と同じ方向にほぼ同じ速度で走行するハンドレールと、前記欄干の乗降口部に設けられたフットライトとを備えた乗客コンベアのフットライト装置において、欄干を構成しているスカートガードパネルのフットライト対応部分を別ピースとし、脱着可能な構成とすることにより達成さ

れる。

【0006】上記のように、スカートガードパネルとは別部材となっている別ピースを脱着可能としているので、これだけ取り外すだけでランプが露出するため、ランプの交換、その奥または左右に位置している照明器具の点検、修理を行うことができる。また、別ピースはスカートガードパネルと面一であり、何ら突出していないので利用者の邪魔となることもない。

【0007】

【発明の実施の形態】以下本発明をエスカレーターに適用した一実施形態を図1、図2により説明する。

【0008】図1は本発明のエスカレーターフットライト部の断面を示す断面図、図2はフットライト部のピース部を取り外した状態を示す斜視図である。

【0009】図において、1は無端状に連結され、2つの乗降口間を循環走行する階段、2は階段1と同じ方向にほぼ同じ速度で走行するハンドレール、3はハンドレール2を支える欄干、4は階段1の両側部に隙間を保って立設されたパネル状のスカートガード、5はスカートガード4の上部と欄干3の下端との間に配置されたモールデッキ、6は外装板で、この外装板6と欄干3の下端との間には、外デッキ7が設けられている。8は乗降口部のスカートガード4に設けられたフットライトであり、ボックス9とソケットおよび蛍光ランプとからなり、ボックス9がスカートガード4の裏側に取付けられている。

【0010】スカートガード4のフットライト対応部は別体のピース部10で構成されている。このピース部10は矩形をしており、水平方向長さは蛍光ランプの長さ程度で、ボックスの長さよりも短く、しかも、下方側には凹部形成部材が固定されている。スカートガード4の前記ピース部10が装着される空所の上内側および下方内側には平板状のブラケット11、12が固定されている。通常、ピース部10の下縁と凹部形成部材間の凹部にブラケット12の上縁突起が挿入され、ピース部10の上縁が、ブラケット11に皿ビス13によって締め付けられた状態となっている。ブラケット11、12により固定される。

【0011】フットライトランプ交換、照明器具の点検修理の際、モールデッキ5、スカートガード4を取り外さずに皿ビス13を外し、上縁を手前に少し引いた状態で持ち上げてピース部10をスカートガード4から外して、図2に示すように蛍光ランプを露出させる。その後必要な交換点検修理作業、例えば蛍光ランプの交換や、その奥左右の照明器具の点検修理を行う。必要な作業の終了後ピース部10を元に戻す。

【0012】尚、符号14はアクリル板、符号15はコームプレート、符号16はくし板を表わす。

【0013】

【発明の効果】本発明によれば、スカートガードパネル

に別部材となっている脱着可能なピース部を設けた構成にしたため、ピース部を取り外すだけでランプの交換が容易にできる。また、照明器具の点検、修理に必要な時間短縮もできる。さらに別ピースはスカートガードパネルと面一でもあり、利用者の邪魔となることもない。

【図面の簡単な説明】

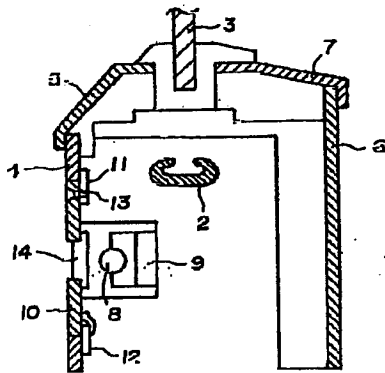
【図1】エスカレーターフットライト部の断面および、ピース部取付状態を表わす断面図である。

【図2】エスカレーターフットライト部のピース部を取り外した状態の斜視図である。

【符号の説明】

- 1 階段
- 2 ハンドレール
- 4 スカートガード
- 5 モールデッキ
- 8 フットライト
- 10 ピース部
- 11 上部ブラケット
- 12 下部ブラケット
- 13 皿ビス

【図1】



【図2】

